

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第4区分
 【発行日】平成27年4月23日(2015.4.23)

【公開番号】特開2013-161514(P2013-161514A)
 【公開日】平成25年8月19日(2013.8.19)
 【年通号数】公開・登録公報2013-044
 【出願番号】特願2012-50331(P2012-50331)
 【国際特許分類】

G 1 1 B 5/31 (2006.01)

G 1 1 B 5/09 (2006.01)

【F I】

G 1 1 B 5/31 F

G 1 1 B 5/09 3 1 1 B

G 1 1 B 5/31 Q

G 1 1 B 5/31 D

【手続補正書】

【提出日】平成27年3月5日(2015.3.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

トランスデューサヘッドであって、
 書込磁極と、
 シールドと、
 前記シールドの磁気応答と前記書込磁極の磁気応答とを能動的に同期させる制御回路と
 を備える、トランスデューサヘッド。

【請求項2】

前記シールドは、前面シールドである、請求項1に記載のトランスデューサヘッド。

【請求項3】

前記シールドは、側面シールドである、請求項1に記載のトランスデューサヘッド。

【請求項4】

前記制御回路は、少なくとも1つのコイルワイヤを励起するように構成される、請求項
 1に記載のトランスデューサヘッド。

【請求項5】

前記制御回路は、メイントランスデューサヘッドコイル内に流れる電流と反対方向の電
 流を用いて、前記少なくとも1つのコイルワイヤを励起するように構成される、請求項4
 に記載のトランスデューサヘッド。

【請求項6】

前記コイルワイヤは、前記シールドに隣接する、請求項4に記載のトランスデューサ
 ヘッド。

【請求項7】

前記コイルワイヤは、前記シールドの内部にある、請求項4に記載のトランスデューサ
 ヘッド。

【請求項8】

前記制御回路は、記録媒体上の磁気セルの密度を増加させて、消去を緩和するとともに

性能を向上させるように構成される、請求項 1 に記載のトランスデューサヘッド。

【請求項 9】

前記制御回路は、記録媒体上のトラックに沿った磁気セルの密度を増加するように構成される、請求項 1 に記載のトランスデューサヘッド。

【請求項 10】

前記制御回路は、記録媒体上の隣接トラック間の磁気セルの密度を増加するように構成される、請求項 1 に記載のトランスデューサヘッド。

【請求項 11】

トランスデューサヘッドを製造する方法であって、
動作中に、シールドの磁気応答と書込磁極の磁気応答とを能動的に同期させるように制御回路を構成するステップと、

動作中に、メイントランスデューサヘッドコイル内に流れる電流と反対方向の電流を用いて、少なくとも 1 つのコイルワイヤを励起するように前記制御回路を構成するステップとを備える、方法。

【請求項 12】

方法であって、
少なくとも 1 つのコイルワイヤを励起する電流信号のパラメータを調整することによって、シールドの磁気応答を書込磁極の磁気応答に能動的に同期させるステップを備える、
方法。

【請求項 13】

前記シールドを励起するステップをさらに備える、請求項 12 に記載の方法。

【請求項 14】

メイントランスデューサヘッドコイル内に流れる電流と反対方向の電流を用いて、前記少なくとも 1 つのコイルワイヤを励起するステップをさらに備える、請求項 12 に記載の方法。

【請求項 15】

前記少なくとも 1 つのコイルワイヤは、前面シールド上にある、請求項 12 に記載の方法。

【請求項 16】

前記少なくとも 1 つのコイルワイヤは、前面シールドの内側にある、請求項 12 に記載の方法。

【請求項 17】

前記少なくとも 1 つのコイルワイヤは、側面シールド上にある、請求項 12 に記載の方法。

【請求項 18】

前記少なくとも 1 つのコイルワイヤは、側面シールドの内部にある、請求項 12 に記載の方法。